

6年生の can-doリスト (★の階段)

() 組 なまえ_____

小学校の英語のさいごの1年。5年生でできたことの、その先をならべました。あてはまるところに日づけを書こう。

いまの自分 あてはまるところに、日づけを書こう (ぜんぶ書けなくてよい)

できるように なりたいこと	★★★ たすけがあれば	★★★ ひとりで
聞くこと	絵やことばの手がかりがあれば、三十秒の 話から知りたいことを二つ聞き取れる。	絵の手がかりがなくても、話を聞いて、何 の話かと、くわしいことが二つ分かる。
読むこと	絵の助けをかりて、友だちのポスターから 知りたいことを二つ見つけられる。	絵の助けがなくても、友だちの文を読んで、何 の話かと、くわしいことが分かる。
話すこと [やり取り]	メモやはり紙を見ながらなら、新しい話題 でも三回以上やり取りできる。	何も見ないで、質問・答え・反応をくり返 して、話を四回以上つづけられる。
話すこと [発表]	メモを見ながら、新しい話題でも、じゅん びした三つの文をさいごまで言える。	絵や地図を見せながら、四つ以上の文を、 つなぎことばでならべて話せる。
書くこと	お手本とことばバンクを見て、新しい話題 でも、自分のことを二つ書ける。	調べたことやしたことを、お手本を見なが ら、つながった三つの文で書ける。

★★★ もう一歩——「じぶんから」やってみたい人へ	
聞くこと	知らないことばがあっても、前後や絵から見当をつけて、話の中心とわけが分かる。
読むこと	友だちのパネルを読んで、質問三つに答え、いちばん大事な一文をえらべる。
話すこと [やり取り]	相手がだまってしまうても、その場で新しい質問を作って、話をつなげる。
話すこと [発表]	聞く人を見ながら、わけを入れた五つ以上の文を、三十秒以上つづけて話せる。
書くこと	したことと気持ちを入れて、四つか五つの文を、じゅんばんを考えて書ける。

この★について ★は成績ではありません。今の自分をたしかめて、つぎに行きたいところを見つけるための表です。まだのところは、何も書かないで置いてよいです。★3は「もう一歩やってみたい人」のためのもので、全員がとどかなくてよいところです。

6年生の can-doリスト（★の階段）〔先生用〕

6年生（外国語科）の到達目標。小5の★2が小6の★1につながるように段を組んであります。到達の記述はそのまま評価規準・所見に使えます。

領域	★	CEFR-J	到達の記述（評価規準・所見に使う言葉）	主に伸びる単元
聞くこと	1	A1.2	絵やキーワードの支援があれば、30秒程度のまとまりのある話から、必要な情報を二つ聞き取ることができる。	es6-origin / es6-daily
	2	A1.2	視覚的な支援がなくても、まとまりのある話を聞いて、その要点と具体的な情報を二つ聞き取り、選たく肢や記録用紙に示すことができる。	es6-world / es6-memory
	3	A1.3	未知語が1語程度含まれていても、文脈や絵から推測し、身近な話題の短い話の中心と、その理由まで理解することができる。	es6-animals / es6-world
読むこと	1	A1.2	挿絵の支援を得ながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句で書かれた友達のポスターやマップを読み、必要な情報を二つ取り出すことができる。	es6-origin / es6-world
	2	A1.2	挿絵の支援がなくても、音声で十分に慣れ親しんだ語句だけで書かれた友達の作品（3～5文）を読み、その要点と具体的な情報を二つ理解することができる。	es6-animals / es6-world
	3	A1.3	音声で十分に慣れ親しんだ語句で書かれた5～8文程度のポスターやパネルを読み、内容についての問いに三つ答え、中心となる一文を選ぶことができる。	es6-memory / es6-animals
話すこと〔やり取り〕	1	A1.2	メモや掲示の支援があれば、一日の生活や宝物など新しい話題についても、質問と応答を3往復以上続けることができる。	es6-me / es6-daily
	2	A1.2	掲示やメモに頼らず、質問・応答・反応を組み合わせ、身近な話題のやり取りを4往復以上続けることができる。	es6-world / es6-weekend
	3	A1.3	相手の発話が5秒程度途切れても、既習表現を組み合わせ、その場で新たな質問を一つ作り出し、やり取りを終わらせずに続けることができる。	es6-world / es6-dream
話すこと〔発表〕	1	A1.2	メモを手がかりに、宝物や一日の生活など新しい話題についても、準備した3文を最後まで話し切ることができる。	es6-me / es6-daily
	2	A1.2	実物や地図を提示しながら、And / Also, などのつなぎ語を用いて、4文以上をまとまりのある順序で話すことができる。	es6-origin / es6-world
	3	A1.3	準備した上で、聞き手の方を見ながら、理由を含む5文以上を30～60秒でまとまりを保って話すことができる（メモは手元に持っていてよい。暗記は求めない）。理由は because を用いず、It was fun. / You can see など既習の文で表す。	es6-memory / es6-dream
書くこと	1	A1.1	例文と語彙リストを参考に、宝物や一日の生活など新しい話題についても、自分のことを表す文を2文書くことができる。	es6-me / es6-daily
	2	A1.1	例文と語彙リストを参考に、調べたことや自分の経験について、語順・文頭の大文字・文末のピリオドを整えて、内容がつながる3文をポスターやマップに書くことができる。	es6-origin / es6-weekend
	3	A1.2	例文を参考にしながら、したことに加えて気持ちや理由を表す文（It was fun. など既習の文）も入れ、読み手に伝わる順序で4～5文のまとまりをパネル等を書くことができる。	es6-memory / es6-dream

使い方

- ・★は支援量の階段（★1 支援あり／★2 ひとりで／★3 自分から）、CEFR-Jコードは言語的難度の目安です。軸が違うので★とコードは1対1になりません（同じコードが★1と★2に並ぶ領域があります）。コードは★の別名ではありません。
- ・この表は評定表ではなく、評価規準と所見の言葉をそろえるための材料です。各単元のルーブリックα欄は、この記述と同じ言い方にしています。
- ・聞く・読む・書くはパフォーマンステストでは測っていません（16単元とも話すこと中心）。行動観察と作品（かきかたワーク・ポスター・マップ）で見取ります。
- ・★3に届いた児童のための所見文例を、各単元のパフォーマンステストに1本ずつ入れてあります（タグ「発展・★3」）。
- ・児童に配る面には外部試験名も CEFR-J コードも印刷されません。

